

1. 社会・治安情勢

リオデジャネイロ州全域で拳銃，機関銃，手榴弾等を使用した殺人，強盗等の凶悪事件が引き続き多発している。特に，近年，リオデジャネイロ市内に約1,000箇所存在するといわれるファベラ（貧民街）を中心に，麻薬密売組織間の銃器を使用した抗争が頻発し，治安に重大な影響を与えてきた。これを受け，軍警察は，2008年に最初の軍警察治安構築部隊（UPP）をドナ・マルタ地区のファベラに設置し，以降，大規模な制圧作戦を継続している（2016年10月現在，リオ市内に計39のUPPを設置し，約270のファベラを管轄）。

UPPをはじめとした治安当局による麻薬密売組織対策活動において度々銃撃戦が発生しているほか，治安当局の取締りに反発するファベラ住民と軍警察との間の抗争も活発化しており，流れ弾による一般市民への被害も散見される。

また，依然として貧困層の若者による「アハスタウン（地引き網）」と呼ばれる集団強盗事件が市内中心部，海岸及び幹線道路沿いで後を絶たない。治安当局もこれらの取締りを強化しているが，健全育成の方針を主眼とした少年法の影響により，逮捕した被疑少年の多くがすぐに釈放されてしまう等，警察による取締りが治安改善に直結していない現状にある。

リオ州政府としても，治安を担当する公安局が中心となり，一般治安の改善を最優先課題の一つとして取り組んでいるが，州の財政難による警察力の低下（超過勤務の抑制，警察車両の使用制限等）にも起因して，市民の体感治安はむしろ悪化している現状にある。

また，州の財政難に起因して，オリンピック・パラリンピック・リオ大会開催前の本年6月には，州文民警察による，未払い給与の即時支払いと劣悪な勤務環境の早期改善を求めるストライキが実施されており，今後の治安への悪影響も懸念されている。

2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（1）第2四半期総括

リオ州公安局統計院（ISP）によれば，2016年1月から7月までに発生した強盗事件の発生件数は11万3,943件で，昨年同期（8万6,618件）と比べて31.5%増加している。また，殺人事件に関しても，2016年1月から7月までの発生件数は2,838件と，昨年同期（2,411件）と比べて17.7%増加しており，2013年以降継続している治安の悪化に歯止めが掛かっていない状況である。

特にオリンピック・パラリンピックが開催された8月から9月にかけて邦人の被害がコパカバーナ等の観光地を中心に多発したこともあり，第2四半期中，

下記6. のとおり計41件の邦人被害が報告されている。

また、8月中のリオ市における交通機関内強盗（バスジャック事件が多数を占める）の発生件数は608件で、前年（337件）比271件増加しており、市バスの利用には十分な注意が必要である。

なお、2015年のリオ市の人口10万人当たりの犯罪発生率は、日本との比較で殺人が約25倍（2014年は23倍）、強盗は約660倍（2014年は510倍）と極めて高い比率で推移している。

3. リオ州犯罪発生状況 2016年8月（前年同月比増減数）

	リオ州	リオ市
殺人	386（+50）	100（-14）
強姦	389（-47）	140（+11）
商業施設強盗	638（+108）	269（+33）
住居侵入強盗	103（+3）	45（+10）
車両強盗	3045（+723）	1269（+170）
路上強盗	8065（+3240）	3670（+1024）
交通機関内強盗	1204（+577）	608（+271）
携帯電話強盗	1762（+653）	895（+264）
強盗総数	17255（+5965）	8155（+2055）
窃盗総数	15938（+1791）	10079（+2543）

4. ZONA SUL（南部地区）犯罪発生状況 2016年8月（前年同月比増減数）

フラメンゴ・ボタフォゴ地区

殺人	0（±0）
商業施設強盗	17（+5）
住居侵入強盗	3（+3）
車両強盗	6（±0）
路上強盗	93（+14）
交通機関内強盗	16（+10）
携帯電話強盗	31（+7）
強盗総数	196（+37）
窃盗総数	594（+179）

コパカバーナ地区

殺人	0（-2）
商業施設強盗	12（+4）
住居侵入強盗	0（-2）
車両強盗	1（+1）
路上強盗	46（+17）

交通機関内強盗	13 (+12)
携帯電話強盗	20 (+12)
強盗総数	147 (+76)
窃盗総数	1009 (+522)

イパネマ・レブロン地区

殺人	-4 (+2)
商業施設強盗	10 (±0)
住居侵入強盗	1 (-3)
車両強盗	2 (±0)
路上強盗	60 (+15)
交通機関内強盗	6 (+3)
携帯電話強盗	18 (+6)
強盗総数	137 (+39)
窃盗総数	650 (+223)

5. 一般事件等（邦人の安全に関係するものを抜粋）

（1）フラメンゴ地区におけるアハスタオン（集団強盗）

7月26日（火）夜、フラメンゴ地区の路上（パイサンドウ通り（Rua Paissandu）とパウロ・セイスト通り（Rua Pauro VI）との交差点付近）において、けん銃で武装した犯人グループが渋滞で停車中の車両の運転手を次々と脅し、車外に連れ出した後暴行を加えて現金等を強取した。

（2）幹線道路においてアハスタオン（集団強盗）が連続発生

7月30日（土）午後10時30分頃、ガレオン国際空港からラゴア（Lagoa）地区（オリンピックのボート競技会場）に抜ける幹線道路上にある Rebouças トンネルにおいて、アハスタオン（「地引き網」の意）と呼ばれる集団強盗事件が発生した。現場に居合わせた日本人によると、「急に前を走る車が全て停車し、渋滞が始まったのかと思うと、突如、大勢の人々が車から降りて進行方向とは逆方向に逃げ始め、その直後にトンネル内で銃声が1回響き渡った。」とのこと。

（3）リオ市内で麻薬密売組織による抗争（銃撃戦）が発生

9月11日（深夜）、リオ市内のファベラ（貧民街）において、麻薬密売組織同士の抗争に起因する銃撃戦が発生し、組織構成員1名が死亡したほか、国際空港と南部地区とを結ぶ幹線道路上にあるヘボウサス・トンネル近くで、流れ弾により8名が負傷する事件が発生した。

6. 邦人被害

（1）強盗事件

7月13日(水)午後7時30分頃、日本人2名がプルデンテ・デ・モライス(Prudente de Morais)通り1117番地(ホテル・エベレスト)付近において、自転車に乗った2人組の若者に凶器で脅され、スマートフォン、カメラ、現金等を強取された。

(2) 窃盗事件(置き引き)

7月26日(火)午後2時30分頃、リオ市内ガレオン国際空港到着ロビー内において、日本人(短期滞在者)がガレオン国際空港に到着し、到着ロビー内にいたところ、いきなりポルトガル語で話しかけられ、日本人が相手に注意を削がれている間に、別の犯人により地面に置いてあった被害者のカバン(パソコン等在中)を持ち去られた。

(3) 窃盗事件(置き引き・スキミング)

7月28日(木)19時30分頃、邦人男性1名がリオ市ジャカレパグア地区のレストランにおいて、カバンを椅子の横の床に置いて食事を取り、21時頃、会計を済ませて店を出ようとしたところ、置いておいたカバンがなくなっていることに気付いた。カバンの中には、クレジットカードの入った財布などが在中していた。

その後、7月30日(土)午後21時頃、リオ市バツハ地区のショッピングモールにおいて、2回にわたって盗まれたカードが、本人の知らない間に使用(それぞれ、2810リアル、1728リアル)されていたことに気付いた。

(4) 強盗事件

7月30日午後6時頃、リオ市コパカバーナ海岸(アトランチカ大通り(AV. Atlantica)1800番地付近)の砂浜(海辺)で、日本人男性が、シャツの中にけん銃様のものを隠し持った様子を見せた男1名に脅され、所持していた現金240リアルを奪われた。

(5) 窃盗事件(置き引き)

7月31日午後11時頃、リオ市バツハ地区のレストランにおいて、邦人が、カバン(現金等在中)の盗難被害に遭った。邦人はグループで同レストランを訪れており、精算等のため、一瞬、椅子に掛けてあったカバンから目を離している間に持ち去られたもの。

(6) 窃盗事件(すり)

8月1日(月)午後1時頃、日本人(短期滞在者)がリオ市の観光地である「ポン・デ・アスーカル」を訪れ、頂上に向かうゴンドラを利用していたところ、いつの間にか所持していたカバンの中からスマートフォン等貴重品を盗まれる「すり」被害に遭った。

(7) 強盗事件

8月2日(火)午後7時頃、コパカバーナ海岸砂浜において、日本人男性がナイフを所持した5人組の男に襲われ、現金、スマートフォン等を奪われる被害

に遭った。

(6) スキミング被害

邦人男性が、7月10日から8月3日にかけて、スキミングによりカードを不正に利用され、計8万ドル相当の詐欺被害に遭った。邦人男性は、カード会社からの使用限度を超過している旨の通知により、被害にあったことを認知した。

(7) 窃盗事件（すり）

8月5日（金）午後7時頃から午後8時頃までの間、邦人男性がマラカナンスタジアム内でサングラスを盗まれた。

(8) 強盗事件

8月6日（土）午後10時ころ、バレーボールの観戦のためマラカナン地区を訪れた邦人2名（男女）が、競技場付近の路上で、二人組（うち一人がけん銃を所持）に脅され、スマートフォン、財布等を強取された。邦人2名に怪我はなかった。

(9) 窃盗事件（置き引き）

8月6日（土）午後10時30分ころから0時30分頃までの間、邦人グループがリオ市イパネマ地区のレストランで夕食を取っていたところ、うち一名が、地面に置いておいたバッグ（パスポート、スマートフォン、デジタルカメラ等が在中）を盗まれる被害に遭った。

(10) 窃盗事件（空き巣）

8月6日（土）、邦人男性が外出中（午前7時から午後11時までの間）、宿泊先であるコパカバーナのホテルに置いていたスーツケースをこじ開けられ、中に入っていた現金がなくなっていることに気づいた。

(11) 窃盗事件（空き巣）

8月6日（土）午前7時頃から同日午後11時頃までの間、邦人男性が外出中、宿泊先のホテルに置いていたスーツケースをこじ開けられ、中に入っていた現金（3万円、100ドル、1000レアル）を窃取された。

(12) 窃盗事件（すり）

8月7日（日）午前11時30分頃、邦人男性がリオ市コパカバーナ地区のビーチバレー会場内において、財布（現金400ドル、カード等在中）をすり取られた。

(13) スキミング被害

8月7日（日）、邦人男性が2,660レアルのスキミング被害に遭った（同日カードを利用したバッハ地区のスーパーで被害に遭った可能性が高い）。

(14) 窃盗被害（すり）

8月8日（月）午後11時30分頃、邦人男性2名がリオ市コパカバーナ地区のアトランティカ大通り（2516番地付近）を歩いていたところ、ズボンのポケットに入っていたスマートフォン（iPhone）1台（時価7

00ドル相当)をすり取られた。

(15) 窃盗被害 (置き引き)

8月3日から8日の間に、邦人女性がバツハ地区内のホテル内に置いていたカバンがなくなっていることに気づいた。

(16) 窃盗被害 (置き引き)

8月8日(月)、邦人男性が柔道を観戦中、足元に置いたバック(携帯電話、PC、現金、クレジットカード等)を置き引きされた。

(17) 窃盗事件 (空き巣)

8月1日から9日までの間に、邦人男性が宿泊先のホテル(バツハ地区)に置いていた衣服と携帯電話の充電器を窃取された。

(18) 窃盗事件 (すり)

8月10日(水)午後4時頃、邦人女性がオリンピックパーク付近の串焼きシュラスコの屋台に並んでいた際、カバンの脇のポケットにいたスマートフォン(Iphone6)をすり取られた。

(19) 窃盗事件 (すり)

8月10日(水)午後1時頃から午後5時頃までの間、リオ市内バツハ地区の複合施設内において、持ち物をすり取られた(詳細は不明)。

(20) 窃盗事件 (ひったくり)

8月11日(木)午前10時15分頃、邦人男性がバツハ地区のビーチを歩いていたところ、後方から男二人が現れ、いきなり邦人男性が手にしていたスマートフォン2台を奪い取って逃走した。

(21) 強盗事件

8月11日(木)午前11時頃、地下鉄マラカナン駅舎前において、邦人二人が知人と待ち合わせをしていたところ、二人組の男性が現れ、刃物をちらつかせながら、「セル・フォン!セル・フォン!」と言って、所持品を渡すよう要求した。邦人二人が要求に従い、それぞれがカバン(携帯電話、旅券等在中)を差し出すと、二人組はそれらを奪って逃走した。

(22) スキミング被害

8月11日から14日までの間、邦人男性がコパカバーナ地区のバー及び銀行でクレジットカードを使用した後、スキミングにより約1万レアルの現金が引き落とされていることに気付いた。

(23) 窃盗事件 (すり)

8月13日(土)午後4時30分頃、コパカバーナ地区のアトランチカ大通りにおいて、邦人男性がポケットWi-Fiをすり取られる被害に遭った。

(24) 窃盗事件 (すり)

8月13日(土)午後4時頃、邦人男性がVLT(ライトレール)のシネランジェラ駅で乗車の列に並び、車両が到着し混み合う車内に乗り込んだ(乗り込む前には財布があったことを確認)。降車した際に財布(クレジットカード

ド、キャッシュカード、タブレット、現金)をすられたことに気づいた。

(25) 窃盗事件 (空き巣)

8月16日(火), 邦人男性がバッハ地区でバトミントン観戦後, ショッピングセンターに行き, 食事と買い物を済ませた後, コンドミニウムに戻ったところ, パスポートが盗まれていることに気づいた。

(26) 窃盗事件 (置き引き) 8月16日(火), 午後7時30分頃, マラカナン地区のオリンピックスタジアム(陸上競技場)内において, 邦人男性が施設内の壁にあるコンセントを使い携帯電話を充電していたところ, 目を離した隙にその携帯電話がなくなっていた。

(27) 窃盗事件 (ひったくり)

8月19日(金)午前11時頃, 邦人女性がリオ市旧市街地(ラパ地区)の路上を歩いていたところ, 後方から2人乗りのバイクが近づき, たすき掛けしていたバッグを奪い取ろうとした(失敗)。被疑者らは, その後, 同女の首のネックレスを奪い取って逃走した。

(28) 窃盗事件 (すり)

8月17日(水)午後1時頃, 邦人男性がバッハ地区のオリンピックパークからメディア・プレスセンターへ向かって歩いていたところ, コートのポケットが開いているのに気づき, 確認したところ, ポケットに収めていた携帯電話とクレジットカードが盗まれていた。

(29) スキミング被害

8月17日(水), 邦人男性がカフェ・バーにおいてクレジットカードで支払した後, クレジットカードを紛失したことに気づき, 念のため明細を調べたところ多額の支払いがされていた。

(30) 窃盗事件 (すり)

8月18日(木)午後3時頃, 邦人男性がBRT(トランスオリムピカ線)車内において, 財布をすり盗られた。

(31) スキミング被害

8月18日(木)午後1時45分頃, 邦人男性がクレジットカードを利用して, コパカバーナ地区のイタウ銀行ATMで現金300リアルを引き出したところ, 翌日, カード会社から連絡を受け, 身に覚えのない現金(2,860リアル)が引き出されていることが判明した。

(32) 窃盗事件 (すり)

8月19日(金)午後6時頃, 邦人男性が地下鉄2号線に乗車中, ジェネラルオゾーリオ駅とカンタガー口駅間で所持していたスマートフォン(2台)をすり盗られた。

(33) 窃盗事件 (すり)

8月20日(土)午後9時頃, 邦人男性がマラカナンスタジアムの出入口付近でバッグに入れていたスマートフォンを盗まれた。

(34) 窃盗事件（すり）

8月20日（土）午後9時頃、邦人男性がマラカナンスタジアム内でズボンのポケット内に収めていたスマートフォンを盗まれた。

(35) 窃盗事件（置き引き）

8月21日（日）午後11時頃、邦人男性がマラカナンスタジアム内でカメラのフラッシュを盗まれた。

(36) 窃盗事件（置き引き）

9月14日（水）午後3時頃、邦人男性が他の友人らとコパカバーナ海岸の売店（キオスク）にいた際、ナイロン製の袋に入れていた携帯電話、スマートフォン、携帯式WiFi、銀行カード等を盗られた。

(37) 窃盗事件（置き引き）

9月16日（金）午後11時50分頃邦人男性がコパカバーナ海岸の売店（キオスク）にいた際、カメラや携帯式WiFiなどが入っていたリックサックを盗られた。

(38) 窃盗事件（置き引き）

9月16日（金）午後9時頃、邦人男性がバッハ地区の屋外フードコートで食事中、テーブルの下に置いていたバッグ（旅券、財布、クレジットカード、カメラ等在中）を盗られた。

(39) 窃盗（すり）

9月16日（金）午前10時頃、邦人女性がオリンピックパーク内で業務に従事中、ポケットに入れていた携帯電話がなくなっていることに気づいた。

(40) 窃盗（置き引き）

9月18日（日）午後4時45分頃、邦人女性が観光地ポン・ジ・アスーカル内の売店で注文等をしていた際、カウンターに置いていたカメラを盗られた。

(41) 窃盗（空き巣）

9月26日（月）午前9時頃、邦人女性が宿泊していたホテル（ボタフォゴ地区）を出発し、午後1時頃戻ったところ、ホテル内に備え付けのクローゼット（鍵つき）の中に収納していたノートパソコン、カメラ2台、現金等が盗まれていることに気付いた。

7. テロ・爆弾事件発生状況

事件の発生は認知していない。

なお、本年8月のリオ・オリンピック開催前から開催中にかけて、連邦警察によるテロ容疑者の一斉検挙作戦（通称：ハッシュ・タグ作戦）が実施され、「テロへの準備行為」を行ったとして、本年施行されたテロ対策法により、15名が検挙されている。

8. 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人被害は確認されていない。

2016年8月中、リオ州内で短時間誘拐7件（うちリオ市4件）、脅迫140件（うちリオ市63件）が発生しており、いずれも高い水準で推移している。